

2025 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 阿 波 製 紙 株 式 会 社
代表者名 代表取締役会長兼社長 三 木 康 弘
(コード番号：3896 東証スタンダード)
問合せ先 取締役上席執行役員 岡 澤 智
CFO
(TEL. 088 - 631 - 8101)

2026 年 3 月期の通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 5 月 13 日に公表いたしました 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想につきまして、以下の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	19,400	280	90	700	70.15
今 回 修 正 予 想 （ B ）	18,500	40	△170	270	27.03
増 減 額 （ B - A ）	△900	△240	△260	△430	
増 減 率 （ % ）	△4.6	△85.7	－	△61.4	
（ ご 参 考 ） 前 期 実 績 （ 2025 年 3 月 期 ）	17,124	432	279	35	3.59

修正の理由

2026 年 3 月期の通期連結業績予想につきまして、水処理関連資材である分離膜支持体用不織布は、市場の需要は引き続き堅調であったものの、原材料の供給不足の影響により十分な調達が出来ず、製品供給が滞った結果、売上高が前回予想を下回る見込みとなりました。

また、一般産業用資材であるサーマルマネジメント材料は、EV（電気自動車）に搭載される LiB（リチウムイオン二次電池）用の需要が急速に冷え込み、売上高が予想を大きく下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上減少に加え、原材料価格および人件費の上昇、新工場立上げに伴う初期費用の増加が重なった結果、営業利益・経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、分離膜支持体用不織布に使用する原材料については、調達先および代替原料の確保を進めており、原材料の調達不足は年度内に解消する見込みです。

※業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上